

## 5. 学生支援

### 5.1 学生概況

学部・学科の在籍学生数

平成 28 年 5 月 1 日現在

学 部	学 科	第 1 学年			第 2 学年			第 3 学年			第 4 学年			合 計			
		男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計	
理工学部	1 年生 (教養)	179	23	202	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	179	23	202
総合光科学部		3	0	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	0	3
理工学部	応用化学生物学科	-	-	-	38	9	47	-	-	-	-	-	-	-	38	9	47
	電子光工学科	-	-	-	40	0	40	-	-	-	-	-	-	-	40	0	40
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	58	10	68	-	-	-	-	-	-	-	58	10	68
総合光科学部	バイオ・マテリアル学科	-	-	-	2	1	3	48	5	53	35	4	39	85	10	95	
	光システム学科	-	-	-	7	0	7	45	6	51	65	6	71	117	12	129	
	グローバルシステムデザイン学科	-	-	-	10	0	10	42	2	44	41	3	44	93	5	98	
合 計		182	23	205	155	20	175	135	13	148	141	13	154	613	69	682	

※1 年次修了時に学科配属を行います。

大学院研究科の在籍学生数

平成 28 年 5 月 1 日現在

研究科	専 攻	課 程	第 1 学年			第 2 学年			第 3 学年			合 計		
			男	女	小計	男	女	小計	男	女	小計	男	女	合計
光科学研究科	光科学専攻	博士前期課程	11	3	14	13	2	15	-	-	-	24	5	29
		博士後期課程	3	0	3	2	0	2	1	1	2	6	1	7

### 5.2 奨学金

平成 28 年度各奨学金採用状況は次のとおりです。

・ 日本学生支援機構奨学金

学 種	貸与種別	予 約	在 学	追 加	緊急 応急	臨 時	平成 28 年 度採用計	平成 27 年度 採用実績
学 部	第一種	29	9	2	0	0	40	33
	第二種	64	15	0	0	1	80	89
大学院	第一種	4	2	2	0	0	8	11
	第二種	1	3	0	0	0	4	3

## ・千歳科学技術大学奨学金

学 種	採用人数
学 部	10
大学院	2

## ・大学院研究援助金

種 別	採用件数
国 内	18
国 外	3

## ・その他の奨学金

奨学金名	貸与・給付	学 種	採用人数
あしなが育英会	貸与	学部	3
慶応工学会奨学金	給付	大学院	1
札幌市奨学金	給付	学部	1
		大学院	1

## 5.3 学生相談

平成 28 年度の学生相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 臨床心理士 2 名、相談員（元特別支援学校校長）1 名

相談回数 125 回（週 3 回、1 回 5 時間）

相談件数 386 件（実人数 37 人） 1 回平均 3.1 人

## ◆利用者数（件）

	1 年	2 年	3 年	4 年	院 生	その他	合計	(実人数)
平成 28 年度	66	104	102	110	0	4	386	(37)
平成 27 年度	96	89	11	118	5	2	321	(39)

※その他には、卒業生、教員、保護者等が含まれます。

## ◆月別利用者数（件）

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
件数	34	40	33	42	8	18	21	40	28	28	16	13	386

男女各 1 名の臨床心理士の他に、発達障害について悩んでいる学生の相談が増加していることから、平成 25 年度より、元特別支援学校校長経験を有する相談員を加え、3 名で様々な相談内容に対応している。

## 5.4 健康相談

平成 28 年度の健康相談利用状況は次のとおりです。

担 当 者 学校医

相談回数 27 回（休業期間を除き原則月に 2～3 回実施、1 回 2 時間）

相談件数 33 件（実人数 32 人） 1 回平均 1.2 人

## ◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	不明	合計
平成28年度	10	5	4	11	3	0	33
平成27年度	13	10	12	9	2	1	47

## ◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	14	9	5	2	夏期休業	0	2	0	1	0	0	春期休業	33

健康相談では、学校医による相談の機会を設け、健康上の悩みを持つ学生のカウンセリングを含めた指導を行っています。

## 5.5 困りごと相談（障害学生支援等含）

平成28年度の困りごと相談利用状況は次のとおりです。

担当者 相談員（元特別支援学校校長）

相談回数 45回（週1回、1回5時間）

相談件数 108件（実人数15人） 1回平均2.4人

## ◆利用者数（件）

	1年	2年	3年	4年	院生	その他	合計
平成27年度	7	15	65	20	1	0	108
平成26年度	7	17	3	14	1	13	55

その他には、TA、教員、保護者等が含まれます。

## ◆月別利用者数（件）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	8	3	14	12	5	5	8	14	10	8	9	12	108

発達障害について悩んでいる学生の相談が増加していることから、平成27年度より、学習面を含む「大学生活の困りごと」に対し、具体的にサポートすることを主な目的として相談窓口を開設しました。また、平成28年度より、継続支援が必要なケースが多いため、夏期休業、春期休業期間も開設し、相談時間も2時間から5時間に延長しました。

## 5.6 クラスアドバイザー

平成19年度より、1～3学年についてクラスアドバイザー制度を導入し、出席状況調査等に基づいて、必要な学生には状況の確認や相談に応じるなどの支援を行っています。特に、

1 学年については、1 名の教員が 5～6 名の学生を担当し、4 月の 1 学年交流会への参加、各学期中の個別面談を行うほか、グループでのレクリエーションを実施するなど交流機会を設け、友達づくりの支援にも努めています。平成 23 年度からは、アドバイザーと学生および学生同士のつながりをより強くすることを目的として、1 学年必修科目の一つを利用したグループ学習を行っています。

### 5.7 1 学年交流会

平成 28 年 4 月 6 日（水）午後 1 時 15 分から午後 4 時 30 分まで、『1 学年交流会』を開催しました。開催内容は次のとおりです。

- ①オリエンテーション
- ②グループワーク（工作とコンテスト）
- ③クラブ・サークル紹介

この事業は、1 学年を対象として、友達づくりに主眼を置いて実施しています。入学して早い時期に新しい友達をつくることによって、孤立した学生、引きこもりがちな学生の減少、さらには休学者、退学者の減少につなげることがねらいで、平成 22 年度からは入学後のオリエンテーションの初日に行っています。

また、クラスアドバイザーはこの機会に学生との連絡手段を確認し、今後のサポートにつなげます。

### 5.8 学生団体の活動

本学の学生団体は、平成 29 年 3 月 31 日現在、学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）のほか「部」11 団体と「サークル」26 団体があり、延べ 560 名以上の学生が活動を行いました。学生会および「部」に対しては、課外活動の活発化を目的として、総額 216 万円の学生活動補助金を交付しました。また、学生活動補助金以外にも、「部」が学外の施設を利用して課外活動をする場合、使用料金の一部を補助しています。

学生団体一覧（カッコ内は顧問教員）

学生会：学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会

部

（体育系）：バスケットボール部（山中）、硬式テニス部（山林）、弓道部（Karthus）、フットサル部（田口）、YOSAKOI ソーラン部（小田(久)）、軟式野球部（谷尾）卓球部（坂井）、バドミントン部（吉田）、ストリートダンス部(小林(大))

（文化系）：軽音楽部（大越）、写真部（石田）

サークル：都山流尺八サークル、理工工房（長谷川）、女子バスケットボールサークル、ソフトテニスサークル、テーブルゲームサークル、TGC サークル、にこにこだんすサークル、エコサークル（福田）、情報技術サークル、CCC(CIST Cycling Circle)（Karthus）、サバイバルゲームサークル（福田）、

アーチェリーサークル、菜園サークル、数検サークル(福田)、麻雀サークル  
天文学サークル(梅村)、航空研究会(小林(大))、Ingressサークル、動画制作サ  
ークル、ライトアート工房(青木)、LTサークル、バレーボールサークルソ  
フトダーツサークル、English Speaking Society(Evans)、陸上競技サークル  
FMac(曾我)

主な活動実績（大会入賞など）

- 学生会（学生会執行委員会、稜輝祭実行委員会、卒業記念事業委員会）
  - ・ペットボトルキャップの回収活動、稜輝祭開催、卒業記念謝恩パーティー開催
- 弓道部
  - ・第二四回千歳市長杯争奪弓道大会【一般団体 優勝（個人）】
- YOSAKOI ソーラン部
  - ・第25回 YOSAKOI ソーラン祭り【セミファイナル 優秀賞】
  - ・第26回石狩川フェスティバル 水祭 YOSAKOI 王座決定戦【準大賞】
  - ・第18回 YOSAKOI ソーラン祭り 上川中央支部大会【準大賞】
  - ・第20回みちのく YOSAKOI まつり【決勝ステージ 4位】
- 軟式野球部
  - ・第23回春季リーグ【4部リーグ 2位】
  - ・2016年度新人戦【ベスト4】
  - ・第23回秋季リーグ戦【4部リーグ 優勝】
- バドミントン部
  - ・第63回北海道学生バドミントン会長杯争奪選手権大会  
【男子シングルスB ベスト32】
- ストリートダンス部
  - ・認定指導員（2級）【3名ライセンス取得】
  - ・認定指導員（初級）【2名ライセンス取得】
- 写真部
  - ・合同写真展「華 Vol.2」参加
  - ・合同写真展「華 Vol.3」参加
  - ・札幌圏大学生合同写真展「EX 15th」参加
- 都山流尺八サークル
  - ・三曲協会第83回定期講演会
  - ・千歳邦楽邦舞の会
- 理科工房
  - ・あそびの日 in 千歳 2016 参加
  - ・千歳リバーシティプロジェクト 参加
  - ・千歳9館合同児童館まつり 参加

- ・カガク・ヒカル・千歳 参加
- ・科学の祭典 参加【千歳大会、札幌サウスイーストオータム大会、北広島大会】
- ・市民公開講座「学問のすすめ」 参加
- ・千歳市サイエンス会議 参加
- 菜園サークル
  - ・第29回花いっぱいコンクール【最優秀賞】
- 数検サークル
  - ・数学検定合格者
    - 【2級1次：1名合格】
    - 【2級2次：2名合格】
    - 【1級1次：1名合格】
- ライトアート工房
  - ・苫小牧技術博物館祭2016特別企画 Time of Flight 参加
  - ・苫小牧文化講演アートフェスティバル2016 オープニングセレモニー 参加
  - ・カガク・ヒカル・千歳 参加
  - ・ミニ科学の祭典2017ふゆ 参加

## 5.9 学生チャレンジプログラム

学生が主体的に行う活動を資金面で支援するために、「学生チャレンジプログラム」の募集を行っています。

支援対象活動は、学生全体を対象とした新たな学内イベントの創出や、社会・地域貢献活動、部昇格など学生団体の継続的な活性化を目的とした取り組みなどに対して、計画書を提出してもらい、その内容を審査の上補助を行う「学生生活貢献部門」と、社会的ニーズを踏まえた（貢献した）コンテンツ及びシステム開発を行った学生チームや個人に対して、その成果を審査した上で奨励する「情報メディア貢献部門」の2部門を支援対象としています。支援額は、学生生活貢献部門1件100万円以内、情報メディア部門1件10万円以内としています。なお、平成28年度の採択はありませんでした。

## 5.10 大学祭の開催

第18回稜輝祭は、稜輝祭実行委員会の主催により、平成28年9月18日（日）に本学キャンパスで開催されました。

今回は、人々の思いを乗せた飛行機が飛び交う『そら』のように幅広い世代の方々に楽しんで頂きたいという意味を込め、『そら』をテーマに開催いたしました。

各部・サークルや研究室による模擬店、YOSAKOIソーラン部による演舞をはじめ、学生団体によるイベント、縁日、移動動物園や大画面を使用したゲーム大会などお子さま向けのイベントあり、ご家族で楽しまれる姿が多くみられました。

さらに、「キンタロー。」「スキンヘッドカメラ」によるお笑いライブで会場の熱気は最高

潮に達しました。

### 5.11 交通安全指導

本学では交通事故防止と交通安全意識の向上を目的として、毎年千歳警察署から講師を招き交通安全講習会を実施しています。本年度は「大学生活に潜む危険」と題し、交通安全のみならず学生生活を送るうえでの危険性について、平成28年4月4日(月)、5日(火)、8日(金)の3回講演いただきました。

本年度の車両通学許可者数(延べ)は、学部1年3名、学部2年3名、3年5名、4年5名、大学院博士前期課程1年3名、2年3名、博士後期課程1年1名です。なお、本学では車両通学の申請を行って許可を得た(車両通学許可証を持っている)学生にのみ車両通学を許可しています。

### 5.12 父母懇談会の開催

平成28年10月1日(土)午前10時から午後4時まで、本学を会場として第11回父母懇談会を開催し約110名の参加がありました。開催内容は次のとおりです。

- ①全体説明会(学長挨拶・就職について)
- ②学部教育について、大学院について
- ③研究成果について、【講演】学生生活における困り感について
- ④学習・生活個別相談(担当教職員が個別に学習・生活などに関する相談に応じる)
- ⑤就職セミナー(企業担当者による講演、就職に関する個別相談、内定学生による就活体験報告会)

### 5.13 学生の受賞等

#### ・佐々木記念賞

この賞は、本学の開学に尽力した初代学長 佐々木敬介教授(1936~1998)の偉業を称え、平成10年に創設されました。学業成績優秀な学部4年生および学術・研究に関し成績優秀または顕著な業績があった大学院生を表彰するものです。平成28年度は、学位記授与式において、賞状と副賞が授与されました。

<大学院>

鈴木 優稀(博士前期課程2年)

越智 大貴(博士前期課程2年)

<学部>

徳光 聖茄(バイオ・マテリアル学科4年)

館山 拓哉(バイオ・マテリアル学科4年)

草野 友紀(光システム学科4年)

武田 郁哉(光システム学科4年)

鷲尾 駿(グローバルシステムデザイン学科4年)

・学生表彰

この賞は、在学中に善行があった学生を表彰するものです。

<優良賞>

該当者なし

<善行賞>

該当者なし